

10

vol.94

FACTORY NEWS

発行/秋葉原ファクトリー 田中電気株式会社 〒101-0021千代田区外神田1-16-9 <http://www.tanaka-denki.co.jp>

プライバシーマーク認証取得!

プライバシーマーク付与認定を新規取得しました



2010年9/9より、プライバシーマークの使用を開始しました! 昨年の7月の委員会発足(キックオフ)から約1年、厳しい認証受審を突破し、財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)より8/26付で個人情報保護マネジメントシステム(PMS)「プライバシーマーク付与認定」(JISQ15001:2006)認定番号第10110071(01)号を取得!

ドコモショップやauショップでは顧客情報などの個人情報、工事部門では作業員名簿など「個人情報リスク管理表」を各部署で討議を重ね作成。社員全員で実施しています。

「今回の、プライバシーマーク取得にあたり、個人情報保護を中心とした情報セキュリティ対策の基礎ができたと思います。今後、情報セキュリティを遵守していくことにより、社会的な信頼に応えられるよう維持管理していきたいと思います。」(清水談)



全国の建設業で取得しているのは134社、そのうち設備工事業は96社です。

お客様の安心安全を守ります!

「部署ごとに個人情報の種類や利用の目的が違うので、それらを整理しまとめるのに苦労しました。認定取得を目標の8月末までに達成できたこと、自部門の個人情報を取りまとめてくれた13名の取得委員、そして従業員全員に感謝です。ありがとうございました。」(金子談)



個人情報保護管理責任者の金子次長(写真左)と、保護委員でネットワークセキュリティ担当リーダーの清水課長

取得目前! ISO14001



「ISO14001」は、会社として環境保全活動に取組み、継続的に改善・汚染予防をしている認証です。事務局2名、推進委員は7名で全員女性です。平成23年1月取得を目標に、身近な事からどんどん取り組んでいます!

お問合せは、フリーダイヤル 0120-150-712 info@tanaka-denki.co.jp

9:00~18:00 (土日祝休)インターネットは24時間受付中!

「危機管理産業展 2010」 出展します



日時 10/6(水)～10/7(金)
会場 東京ビックサイト
西ホール及び会議棟

新商品、防災無線各種の展示、マスコミ・公共機関向けの新ソリューション実演等。

初出展！第46回 Inter BEE

Inter BEE 2010

日時 11/17(水)～11/19(金)
会場 東京ビックサイト

国際放送機器展に初出展します！

キャンペーン



今、対象商品 **MS50・MS80** の
ご購入者にモトローラグッズの
プレゼントキャンペーン実施中！

数に限りがありますのでお早めに

田中電気セレクト 今月の新商品

安心マネジメント 連続撮影型ドライブレコーダー

田中電気販売価格

¥29,800



ドライブレコーダーは、航空機事故が起きた時に回収されるフライトレコーダーの自動車版です。車のフロントガラス面にカメラを取り付け、常に前方の状況を画像データで記録します。同時に、車内の音声も記録。2GBのSDカードでエンジン始動後、約2時間の記録が可能です。データはwindowsパソコンで見ることができます。取り付けも電源コードを本体と車体のソケットに差し込むだけ！簡単です。ドライブレコーダーあんしん mini は、ドライバーの皆さまに安全と安心を提供します。

詳しくは

TEL:0120-150-712(担当渡辺)までお問合せください。

田中電気ツイッター

おかげさまで1000フォロー超えました！フォローお願いします！



tanaka_denki

田中電気 HP リニューアルしました

<http://www.tanaka-denki.co.jp/>

田中電気

検索



ブログも
毎日更新中！

江戸の歴史シリーズ 『祐天寺』

No.45

東横線・祐天寺駅から約8分。この日東京は37.2度という約3年ぶりの今年最高まで上昇し、汗だくの祐天寺参りとなった。

裕天上人は寛永14年(1637年)いわきの国(福島県)に生まれました。檀林増上寺の学寮主檀通上人のもとで出家し、諸檀林を転住した師に従って修行を深めました。師の遷化後は増上寺へ戻って更に学問に励みましたが、50歳で引退して本所牛嶋(墨田区)に草庵を結びました。ひたすら念仏と名号書写の日々を送った祐天上人は、多くの人に名号を授け信仰を集めた。やがて名号の功德は柱昌院(網吉公生母)にも届き、祐天上人は将軍家や皇室、諸大名から帰依を受けるようになってきました。

元禄12年(1699年)63歳のとき、裕天上人は五代将軍綱吉公の台命により檀林生実大蔵寺(千葉県)の住職となりました。引退した身である祐天上人がこのような出世を選じたのは前代未聞の事でした。以後、飯沼弘経寺(茨城県)と小石川伝通院(文京区)の住持を経て、75歳で増上寺第三十六大僧正に任じられました。

享保3年(1718年)7月に祐天上人が82歳で遷化すると、弟子の祐海上人は祐天上人の遺命により念仏道場の建立を志願しました。将軍家の特別のはからいで善久院という小寺に祐天寺の名を付し、同年閏十月、目黒の地に念仏道場として起立しました。翌年には松姫(網吉公養女)により祐天上人坐像が寄進されて本尊となり祐天寺は念仏道場として発展していきました。

(社務所案内から)

